

#### 4. スキー場内レストラン



スキー場内のリフト終点にはほとんどレストランが併設されています。レストラン内にはセルフサービスのエリアと普通のオーダー制のレストランが併設され、オーダー制のレストランは前もって予約が可能となっていて人気店では予約しないと入れない場合もあるそうです。屋外には、必ずオープンテラスを設置してあります。ここで2? 3時間、もしくは一日中過ごすのがサンモリッツ流だそうです。エンガディンのスキー場内には、37 のレストランがあります。

中でもサンモリッツの中心ゲレンデ“ コルピリア ”のセンター施設にあるレストラン“ Mathis Food Affairs ”は山の中腹にあるにもかかわらず、本格的なコース料理を用意していたり、オープンテラスでは大型ヨットを飾るなど明るく豪華な雰囲気を作っていたりしていました。

どこのレストランでもコーヒーは大切に扱われ、本格的なコーヒーマシンが設置されていました。イタリアが近いのでほとんどがエスプレッソをベースとしたコーヒーを提供していました。(チューリッヒよりイタリアのミラノの方が距離が近い)



ほとんどのレストランにチーズや乳製品のメニューがあり、さすがに美味しいものばかり。

量は驚くほど多く、通常の日本人には少々多すぎなくらいに思われました。



#### 5. 観光局

サンモリッツの観光局は中心街にあり、サンモリッツの観光の総合窓口になっていて、観光の案内からホテルの予約までいってに請け負っています。

地下には春夏秋冬それぞれのパンフレットやポスターが整理され、印刷機もあります。インターネットでパンフレットの依頼がくるとここで発送しています。また、観光局には別館が近くにあり、ここにホテル・チケットなどのオンラインシステムのサーバーがあります。

##### \* オンラインシステム \*

ホテル・貸別荘は全て観光局にオンラインで結ばれており、空き情報や予約、問い合わせが瞬時に行えるシステムです。最近では、サンモリッツに加えて隣接する町(セレリーナ)地区のホテルも登録されているそうです。予約はインターネット上でも観光局への電話でも直接来局でも行え、全て同一システムで行います。10%の予約がインターネット上で行われ、年々増える傾向にあるそうです。観光局の別館(オペレーター室)には、コンピューターのハード・ソフトのメンテナンスを行う、専属のスタッフが常駐し(外注ではなく観光局職員だそうです)障害発生時やシステムの変更など即対応できるそうです。